



あなたの未来に笑顔と元気を！
あした

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2021年 夏号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

現在、コロナ感染が変異株に置き換わり、首都圏の感染状況、夏休み・お盆の時期等の人流増加で感染再拡大が危惧されることから宮城県全域に「リバウンド防止徹底期間」が8月31日まで継続されております。市民の皆様、事業者の皆様への引き続きのご協力をお願い申し上げます。

第2回定例会では、提出された議案並びに重要課題について会派を代表し代表質疑をいたしました。10次となる緊急要望・調査活動等を含めご報告として「さとう和子スマイル通信2021年夏号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。ワクチン接種の加速化、経済喚起策をはじめ新型コロナ感染対策に全力を上げるとともに市政課題に取り組んでまいります。

2021年8月吉日、仙台市議会議員 さとう和子

仙台市役所1FにPCR検査センターが開設しました！ 希望する方が安価で気軽に検査が受けられる環境を整備！



開設に至っては、感染者の早期発見、市民の不安解消や社会経済活動の継続を促進する上で重要な取り組みとして、県・市に緊急要望や議会質問で求め、公明党庄子賢一前県議会議員が市に民間企業を橋渡し調整を重ね、実現したものです。ワクチン接種を受けていない方、仕事や帰省等でご心配の方はご利用ください。陽性の場合、仙台市保健所からご本人に直接連絡が入ります。安心の体制、市役所内の設置は全国初です。

営業時間 平日のみ8:30~17:30 仙台市民は1,900円、仙台市外の県民は2,100円



6月23日、仙台市と木下グループと協定書を交わし、7月6日市長定例記者会見で正式発表（庄子賢一前県議・鈴木広康市議が同席）



開設前日の7月14日視察

PCR検査のご予約はこちらから→



円滑なワクチン接種等を求めて第10次緊急要望書提出！

5月12日、公明党仙台市議団は郡市長に、障がい者等への情報保障、予約キャンセル待ち接種の「(仮称)ワクチンバンク」設置、民間企業と連携した希望する方が低料金でPCR検査が受けられる検査センターの開設、理美容や文化芸術関連等の事業組合を対象としたクーポン支援事業の創設など21項目を要望しました。



不登校の子どもたちの支援強化を求めて要望書提出！

6月28日、市民団体「多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク」と親の会有志の皆様が郡市長、福田教育長へ「不登校の子どもたちの育成を図るための施策推進と支援のお願い」の要望書を提出しました。席上、保護者から不登校の子どもを持つ家庭の苦悩、深刻な現状を訴えました。公明党仙台市議団が同席させていただきました。



～ 第2回定例会・代表質疑 ～

(令和3年6月14日)

◆ワクチン接種の体制強化、希望する方へワクチン接種が行き渡る対策について



- Q:** 在宅の重度障がい者、寝たきりの高齢者への訪問接種について、優先接種の柔軟な対応をすべき。
- A:** 集団接種等が難しい方々に対する訪問接種については、仙台市医師会と連携して対応を進めているところである。
- Q:** 仕事や家庭の事情、DV被害者等で住所地以外の場所に滞在もしくはお住まいの方、外国人、路上生活者の希望する方がこぼれ落ちないように対応すべき。
- A:** 配慮が必要な方等に対して、更なる広報の展開や様々な手段でのサポートを行ない、希望する全ての方が接種できるよう努めてまいりたい。
- Q:** ワクチン接種を速やかに行なうと同時にワクチンを無駄にしないことが重要。さらに接種が進んでいく状況で余剰ワクチンの事前ルールの見直しが必要である。
- A:** 今後、64歳以下への接種対象が拡大する中、キャンセル対応の在り方について、他自治体の事例も参考にしながら、引き続き検討を重ねてまいりたい。
- Q:** 現在も多くの市民から声が寄せられている。コールセンターのナビダイヤル(有料)からフリーダイヤル(無料)への変更を強く求める。(再質問)
- A:** 通話の効率化に向けた対応マニュアルの定期的な更新や問い合わせ内容によっては、コールセンターからかけ直すことなどにより、ご利用される皆様の負担軽減に向けた取り組みをさらに進めてまいりたい。

◆市立学校における生理用品の配布について

- Q:** 女性の健康として当たり前トイレトペーパー同様、学校トイレ内に配備すべき。4月2日の緊急要望は、なかなか声を上げられない児童生徒の配慮を求めたものである。全国、県内の学校トイレ内への配備が広がっている。(再質問)
- A:** 生理用品を女子トイレに設置して、手に取りやすいところに置く、その利便性はあるわけだが、児童生徒と直接関わり合いを持っていく、ということも併せて大切にしながら寄り添っていくことが重要ではないかと考える。

◆その他の主な質問項目

- 市政方針で掲げた「創例主義」の意義と成果について
- 仙台市政の課題と市民の健康等について、意識・実態を把握するため、委託調査を実施。市長の公約の一つであったいじめ対策について、この4年間の取り組みの自己評価とアンケート調査結果についてのご所見
- 予診票の送付、ワクチンの保管体制と医療機関へのワクチン配送について
- 接種の担い手の拡充、県・医師会との協議の進捗について
- 職域接種の連携協力・変異株検査事業費について
- ワクチンの安全性、供給量の掲載、接種後の行動指針等の情報発信の充実
- 副反応やコロナ後遺症の相談体制、コールセンターの丁寧な対応、県との連携
- 経済支援対策について、宮城県独自の飲食店認証制度、アクリル板やCO2センサーなど感染対策に必要な設備等の補助制度の周知強化と仙台市独自の経済喚起策
- 女性に対する暴力根絶及び被害者支援を要する経費について
- 泉パークタウン朝日地区開発事業の事業者へ近隣住民の安全・安心対策の指導継続
- 法改正により大雨時の避難情報の周知徹底、自力での避難が難しい高齢者・障がい者、浸水のリスクが高い地域等の「個別避難計画」の作成、マイ・タイムライン作成を市民へ浸透させる取り組み

◆その他の主な質問項目

- ・「(仮称)仙台市DX推進計画」について、誰にも優しいデジタル化の取り組み
- ・寄り添う子育て支援の強化と「ブックスタート事業」等の新生児へのお祝い
- ・スーパーシティ構想の指定採択に向けた市長のご決意

*スーパーシティ構想とは

仙台市と東北大学が連携して、最先端技術を活用し未来の生活を先行実現する都市を目指す国家戦略特区「スーパーシティ構想」に応募した。東北大学青葉山キャンパスを中心に防災、エネルギー、ロボット、医療、交通などの分野で先端的サービスを提供する。



～ 子育て環境充実調査特別委員会 ～

(第5回4月27日・第6回5月18日・第7回7月7日)

今委員会は、「子どもの支援体制の拡充と子育てしやすい環境の整備」をテーマとし、委員間の活発な議論を重ねております。第5回は、2つ目の調査項目である「妊娠期から乳児期において安心して子どもを産み育てるための支援の強化」について、一般社団法人ドゥーラ協会の宗祥子代表理事より「産前産後ケアに対する行政の取り組み～マニュアル化子育ての限界への対応～」、産後ドゥーラである梁川妙子理事より「弱り戸惑う母親を守り、支える存在として」と題して講演(オンライン)を拝聴しました。第6回は、これまでの調査活動を通し委員間の総括的な意見交換、第7回は報告書案についての意見交換を行ない、仙台市への提言を含めた報告書のまとめに向けて取り組んでおります。



*産後ドゥーラ協会とは

一般社団法人ドゥーラ協会は2012年に設立。出産前後の母親を支え、家事や育児をサポートする産後ドゥーラを養成・認定事業を行なっている。現在、全国で1期生～23期生(564名)を育成し産後ケアの担い手として活躍している。



皆さまの声がカタチになりました！

■コロナ感染症の影響等により困難を抱えた女性の支援が拡充されました！

今定例会で、生理用品の無償配布、民間支援団体等と連携した相談体制の拡充(出張型と一時的な居場所を提供するレスパイトの実施)が補正予算に計上されました。また、市立学校の保健室で常備している生理用品が利用しやすいよう、そのことをトイレに掲示し周知が強化されました。公明党仙台市議団は4月2日に「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出し実現したものです。

■ご遺族のための手続きガイド「おくやみハンドブック」ができました！



ご遺族の手続きが1か所のできる窓口「おくやみコーナー」の設置については、今年12月に若林区役所に設置される予定で、来年度以降、各区役所・総合支所に順次、設置される予定です。

■羽黒台24付近の市道の除草

■鉤取2丁目の後田川沿いの柵の設置、継続事業として今年度も実施



視察・活動

■「子育てハッピーアドバイス講座」～しつけより勉強よりたいせつなこと。自己肯定感を育むために～親子教室りとりてって代表 須田優佳氏の講演参加 (5月17日)

■大規模接種会場である東北大学ワクチン接種センターの視察 (5月22日)



■仙台市議会では、議会のICT化推進に向けた方法等を検討するため、令和2年3月に「ICT化推進検討会議」を立ち上げ協議を重ね、今定例会よりタブレット端末等が導入されました。5月28日、研修会に参加しました。



(この検討会は、公明党嶋中貴志副議長を座長とし6会派より選出された議員7名で構成されている)

■仙台市×東北大学スーパーシティ構想シンポジウム(オンライン)参加 (6月12日)



■教育機会確保プログラム「ろりぽっぷ教室」(小中学生対象のイベント)を実施した、ろりぽっぷ学園を視察 (6月24日・若林区)

■旗立緑地(山田北前町)既設法枠改修工事説明会参加 (6月27日)

■子育ての相談事業所たぬきさんち(菊地和則代表)を視察。視線計測装置(かおTV・ゲイズファインダー)を活用しながら子育て支援を行なっている。 (7月9日・宮城野区)

■仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 令和3年度総会出席 (7月16日・川崎町)

■「多様な学びと子ども支援」と題してNPO法人東京シューレ 奥地圭子理事長の講演(オンライン)参加 (4月21日)

子ども中心の教育を



二口溪谷



姉妹滝

新緑の魅力ある秋保二口を訪ねて！

5月22日早朝より、秋保をこよなく愛する方のご案内で蔵王国定公園・大東岳周辺を横山のぼる県議とともに視察しました。「二口は大東岳をはじめとする山、表磐司・裏磐司の岩、姉妹滝・白糸の滝など見どころ満載だが、道路状況・交通アクセスや登山道の整備、名所の案内板の老朽化など課題があり、もっと魅力あふれる場所にしてほしい」と寄せられておりました。普段の運動不足できついところもありましたが一つ一つ現地を確認しながら歩きました。手つかずの自然、新緑眩しい光景に秋保の奥深さを感じた日となりました。課題が多くありますが、環境整備に粘り強く取り組んでまいります。



表磐司岩